

平成 2 3 年度決算に係る

定 期 監 査  
決 算 審 査 調 書

平成 2 4 年 7 月

病 院 局 総 務 課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	1
(2)	監査意見	1
(3)	審査意見	1
(4)	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	3
2	組織及び業務調べ	4
3	職員の状況	
(1)	定員、現員調べ	4
(2)	役付職員の調べ	4
4	主な事業に関する調べ	5
5	経営等の状況	
(1)	施設規模、業務状況等	7
(2)	経営分析等	7
(3)	一般会計からの繰入金の状況	7
(4)	債務負担行為の状況	7
(5)	工事請負費調べ	8
(6)	委託料、諸会費支出状況	8
ア	委託料	8
イ	諸会費	9
(7)	その他の収入支出の状況	9
ア	その他医業収益	9
イ	その他医業外収益	9
ウ	特別利益	9
エ	雑損失	9
オ	不納欠損処分	9
カ	特別損失	9
キ	未収金	9
ク	医業未収金(患者自己負担分)回収促進のための取り組み状況	9
(8)	未利用の土地及び建物の状況	9
(9)	土地、建物の貸付け及び使用許可状況	10
(10)	借受不動産の状況	10
(11)	職員住宅及び職員駐車場の管理状況	10
(12)	除却資産	10
(13)	寄附物件の受納状況	10
(14)	不用品等の処分状況	10
(15)	金券類の受払状況	10
(16)	固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況	10
(17)	自動車の管理状況	10
(18)	貯蔵品の購入払出の状況	10

6	予算決算対比表	
	(1) 収益的收入及び支出	11
	(2) 資本的收入及び支出	12
7	資金収支の状況	
	(1) 資金収支表	13
	(2) 累積資金推移表	13
8	意見、要望等	14
9	決算調書(地方公営企業法施行規則に定める様式により作成すること。)	
10	繰越計算書、精算報告書(地方公営企業法施行規則に定める様式により作成すること。)	
11	決算報告書関係説明資料(比較損益計算書、患者数に関する調べ、比較貸借対照表、固定資産年度中増減明細書、貯蔵品内訳明細書、未収未払勘定明細表、減価償却年度中増減明細表、留保資金等調書、企業債償還年次表、経営分析に関する調べ)	
12	その他参考資料(未収金調書、未払金調書、減価償却内訳表、建設改良費明細表)	

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>(厚生病院) 小児科医師への外来診療に係る時間外勤務手当について、時間外勤務をさせているにもかかわらず支出していないものがあった。</p>	<p>該当の医師には、事情を説明の上、平成21年7月以降に未支給となっている時間外勤務手当を平成23年8月分の給与支給時に支払った。</p> <p>なお、未支給の原因となった時間外勤務は、小児科の時間外急患診療に対応した変則的な就業時間と少人数の小児科医師による外来診療の割り当てにより、該当の医師の勤務に歪みが生じたことを背景にしており、外来診療の割り当てを改めることにより、恒常的な時間外勤務の発生を抑えることとした。</p>

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>病院事業が公営企業として、経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するためには、診療機能の充実を図るとともに、経営健全化を進める必要がある。</p> <p>このためには、次のことについて積極的に取り組まれない</p>	
<p>(1) 「第2期県立病院改革プラン」の着実な推進について</p> <p>「第2期県立病院改革プラン」では、救命救急センター機能、周産期医療の充実、7対1看護体制の維持及び3人夜勤体制の完全実施などの医療機能充実計画目標と経費の節減、抑制対策などの経営効率化計画目標が示されており、それらの達成が、県の基幹病院・地域の中核病院として、高度で良質な医療を継続して提供していくためには不可欠である。</p> <p>については、「第2期県立病院改革プラン」の推進にあたっては、達成状況の検証を行いながら、着実に実施されたい。</p>	<p>推進にあたっては、実績や達成状況などを外部委員で構成する県立病院運営評議会での検証も行いながら、着実な推進に努めていく。</p>

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>(2) 防災対策の見直しについて</p> <p>未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生により、改めて津波や液状化の対策も含めた防災対策の見直しが不可欠となっている。</p> <p>中央病院は、基幹災害医療センターとして、厚生病院は、地域災害医療センターとして災害医療を担う拠点施設であり、災害時における医療体制の維持、確保が重要な課題となっている。</p> <p>現在、県では津波を想定した防災対策の見直しが行われ、新たな被害想定による津波浸水予想図や河川津波遡上予想図の作成が行われているところである。</p> <p>については、津波を想定した見直しを踏まえ、災害時の人員やライフラインの確保、医薬品や食糧品の備蓄などの防災対策について関係機関と連携を図りながら、見直しを検討されたい。</p>	<p>自然災害に備えた対策については、河川の氾濫による浸水対策として、生命維持装置等に必要な最低限の電力確保を目的とした設備の建物上層階への追加整備を平成24年度に行うこととしている。(平成23年度2月補正で予算措置)。</p> <p>また、電子カルテのデータ保存対策として、従来同じ棟(中央病院)又は同じ部屋(厚生病院)で管理していたバックアップ用サーバと磁気テープを別々の場所で管理することにより浸水、火災等によるデータ消失を防ぐこととするなど、災害に備えたところである。今後も必要に応じて設備対策等を見直していきたい。</p>
<p>(3) 適正な経理事務体制の確保について</p> <p>中央病院では、電子カルテシステムのプログラムミス等により6,784万円の過年度損益修正が行われ、また、厚生病院では、減価償却費の算定ミスにより、7,149万円の過年度損益修正が行われた。</p> <p>これらについては、平成21年度決算に係る定期監査において是正を求め、注意を喚起したところである。</p> <p>県立病院は、適正な会計処理や決算を行い、正確な経営状況や資産状況を公表することが求められており、今後このようなことがおきないように、チェック体制の構築や職員の財務研修を行うなど再発防止を講じられたい。</p>	<p>平成24年3月に病院局総務課及び両病院の事務担当者による勉強会を開催し、定期監査の指摘事項等の再発防止のため改善状況や対応状況について情報共有し、事務手続について確認しあった。また、会計書類についてはチェックリストにより複数の職員が責任をもってチェックするよう徹底した。</p>

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>(4) 未収金(患者自己負担分)対策について</p> <p>厚生病院では、滞納が発生したら速やかに電話による督促や、納付の約束を履行しない場合などには個別訪問を実施するなどの未収金の回収方策をとっているほか、未収金を発生させない方策の一つとして、請求書を発行できない時間外や休日には他の病院と同様に預り金の徴収も行っている。</p> <p>中央病院では、滞納者に対する電話督促回数は少なく、個別訪問による徴収もほとんど実施されておらず、預り金の徴収も行っていない。</p> <p>このように、両病院での未収金の回収に対する取組には大きな差があるので、改善を図られたい。</p> <p>また、滞納の要因としては、景気低迷による生活困窮等の経済的理由や支払能力があるにもかかわらず支払わない等、患者モラルの低下などがあげられており、滞納原因や支払能力の分析をした上で、滞納者の状況に応じた債権回収を行っていく必要がある。</p> <p>ついては、両病院ともに滞納者の状況に応じた債権分類を行い、債権回収のための基準を作成した上で、効果的、効率的な回収に努めるとともに、一層の債権回収対策を講じられたい。</p>	<p>中央病院では従来から取り組んでいる弁護士法人への債権回収業務委託や入院患者に対する限度額適用認定等の患者自己負担額の軽減制度の利用の促進に加え、平成24年1月には県外在住患者等の支払を促進するため、コンビニエンスストア収納制度を導入した。さらに、平成24年4月からは時間外・休日受診の小児・ひとり親家庭の患者(特別医療費助成対象者)から自己負担上限額である530円の預り金徴収を開始したところである。</p> <p>また、両病院とも再三の督促にも何ら反応しない、支払能力があるにもかかわらず支払わない等、支払う意思が見られない滞納者に対しては、支払督促の申立てなど法的措置による回収にも取り組んでいくこととしている。</p> <p>さらに、他病院の取組みなどを参考にしながら債権分類に取り組むとともに、鳥取県税外未収金に係る庁内会議(財源確保推進課等で構成)における検討も踏まえ、効果的、効率的な対策を講じていくこととする。</p>

(4) 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>(文書指摘)</p> <p>11 災害を想定した病院施設の充実について</p> <p>両県立病院とも災害拠点病院として、24時間対応可能な緊急体制、耐震・免震化された建物を備え、災害時における地域医療の砦となっているところではありますが、近年、全国各地で津波、豪雨等による浸水、長期間にわたるライフラインの停止等の被害が発生しており、施設、設備面の対策が課題となっています。</p> <p>つきましては、現在地下等に設置されている非常用発電装置の設置箇所及び浸水対策並びに電子カルテ等基幹システムのバックアップ方法等多方面において、これまでの予測を超えるような自然災害に備えた対策を早急に講じるべきであります。</p> <p>また中央病院は、昨年度本館建物の耐震補強工事により耐震性の向上が図られたところではありますが、築後35年以上が経過しており、改築等に向けた本格的な検討を始めるべき時期にあると考えます。検討にあたっては、災害拠点病院としての機能強化、地域医療連携の推進を重点に据え、さらには改築等に備え、より一層安定した病院経営に努める必要があります。</p>	<p>自然災害に備えた対策については、河川の氾濫による浸水対策として、生命維持装置等に必要な最低限の電力確保を目的とした設備の建物上層階への追加整備を平成24年度に行うこととしている。(平成23年度2月補正で予算措置)。</p> <p>また、電子カルテのデータ保存対策として、従来同じ棟(中央病院)又は同じ部屋(厚生病院)で管理していたバックアップ用サーバと磁気テープを別々の場所で管理することにより浸水、火災等によるデータ消失を防ぐこととするなど、災害に備えたところである。今後も必要に応じて設備対策等を見直していきたい。</p> <p>中央病院本館については、築後37年を経過し、施設・設備の老朽化と狭隘化が進んでいるためいずれ将来的に建替が必要と考えているが、災害拠点病院、救急指定病院、地域医療支援病院など中央病院の使命や地域における機能分担を十分に考慮して検討する必要がある。</p> <p>なお、仮に建替を行うこととなれば多額の費用を要することから、一層の効率的な病院運営に努め、建築資金を計画的に積み立てていく必要がある。</p>

## 2 組織及び業務調べ

局（室）名	科（センター、室、部、課）名	課の主な所掌事務
病院局	総務課	局職員の人事及び労務に関すること 局の予算、決算及び会計に関すること 局の事務の総合調整に関すること

## 3 職員の状況

### (1) 定員、現員調べ

(平成24年4月1日現在)

職種	定員	現員	過不足 (△)	23.4.1現在		増減		備考
				定員	現員	定員	現員	
事務員	7(1)	7(1)	0	8(1)	7(1)	△1	0	事務

### (2) 役付職員の調べ

(平成24年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
病院事業管理者	柴田 正顕	2	5	
総務課長 病院局長事務取扱	細川 淳	2	2	H20.4～ 主幹 H21.4～ 課長補佐 H22.4～ 総務課長 病院局長事務取扱 企業出納員
課長補佐	西村 元良	0	2	企業出納員

4 主な事業に関する調べ

事業名	概要																																																
職員採用試験の実施  決算(見込)額 - 千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 両病院において必要な人材を確保すること。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 次のとおり、適時に職員採用試験を実施した。</p> <p><b>【看護師採用試験】 8回実施</b></p> <table border="1" data-bbox="528 551 1442 792"> <thead> <tr> <th>試験日</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>備考</th> <th>試験日</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/21</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>随時</td> <td>8/21</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>大阪会場</td> </tr> <tr> <td>5/13</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>"</td> <td>11/29</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>5/26</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>"</td> <td>2/8</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>7/30</td> <td>72</td> <td>67</td> <td>鳥取会場</td> <td>2/25</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>計</td> <td>102</td> <td>94</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【医療技術職採用試験】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回実施 ※ ( ) は受験者数/合格者数              11月：作業療法士 (4/1)              診療放射線技師 (5/1)、臨床検査技師 (14/2)              臨床工学技士 (1/0)、薬剤師 (4/4)</li> </ul> <p>イ 平成23年度実施に当たり改善等に取り組んだ点            ・ 特になし。</p> <p>ウ 成果</p> <p>(ア) 看護師            ・ 看護師確保に努め、夜勤体制の充実など医療安全の向上を図ることができた。</p> <p>(イ) 医療技術職            ・ 必要な人材が概ね確保できた。</p> <p>エ 課題            ・ 優秀な人材を必要数確保できるよう、受験者を集める努力を継続して行うこと。</p>	試験日	受験者数	合格者数	備考	試験日	受験者数	合格者数	備考	4/21	1	1	随時	8/21	11	10	大阪会場	5/13	1	1	"	11/29	2	2	随時	5/26	1	1	"	2/8	2	2	"	7/30	72	67	鳥取会場	2/25	12	10	"					計	102	94	
試験日	受験者数	合格者数	備考	試験日	受験者数	合格者数	備考																																										
4/21	1	1	随時	8/21	11	10	大阪会場																																										
5/13	1	1	"	11/29	2	2	随時																																										
5/26	1	1	"	2/8	2	2	"																																										
7/30	72	67	鳥取会場	2/25	12	10	"																																										
				計	102	94																																											



事業名	概要	要
<p>未収金対策の推進</p> <p>決算(見込)額 ー 千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 患者自己負担分未収金の回収促進を図ること。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 両病院と連携しながら以下のような取り組みを引き続き行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院事業管理者名での最終催告</li> <li>・弁護士法人に債権回収業務を委託 (中央病院：19年6月～、厚生病院：19年7月～)</li> <li>・クレジットカード決済の導入 (中央病院：19年10月～、厚生病院：19年1月～)</li> </ul> <p>イ 平成23年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 中央病院では県外在住患者等の支払いを促進するため、コンビニエンスストア収納を平成24年1月に開始した。 法的手段(支払督促申立)を行うための手続きをすすめ、支払督促申立を行う前提の最終催告を行った(1件)。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士法人による回収率は16%程度。(金額ベース)※約2,028万円(累計)</li> <li>・クレジットカード決済の利用率は8%程度。(金額ベース)※14,886万円(H23年度)</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収努力は引き続き行っていくが、一方で回収不能な債権の処理が課題である。鳥取県税外未収金に係る庁内会議(財源確保推進課等で構成)に病院局も参加しており、今後検討を進めていく。(平成24年4月に1回目開催)</li> <li>・未収金の新規発生抑制策についても引き続き検討する必要がある。</li> </ul>	

事業名	概要									
第Ⅱ期県立病院 改革プランの推進  決算(見込)額 ー 千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年3月に策定した第Ⅱ期改革プラン(平成23～27年度)を確実に実行していくため、実施状況を点検し、見直しを行った。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改革プランの点検及び評価(各病院における内部評価と県立病院運営評議会による外部評価)を半期毎に行い、適宜必要な修正を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="513 589 1362 712"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内部評価</th> <th>外部評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下期+年間点検・評価</td> <td>6～7月</td> <td>8月</td> </tr> <tr> <td>上期点検・評価</td> <td>11～12月</td> <td>3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成23年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両県立病院はこのプランに従い、診療機能の充実と病院経営の効率化に取り組んでいる。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績や達成状況などを外部委員で構成する県立病院運営評議会での検証も行いながら、着実な推進に努める必要がある。</li> </ul>	項目	内部評価	外部評価	下期+年間点検・評価	6～7月	8月	上期点検・評価	11～12月	3月
項目	内部評価	外部評価								
下期+年間点検・評価	6～7月	8月								
上期点検・評価	11～12月	3月								

## 5 経営等の状況

- (1) 施設規模、業務状況等  
該当なし
- (2) 経営分析等  
該当なし
- (3) 一般会計からの繰入金状況  
該当なし
- (4) 債務負担行為の状況  
該当なし
- (5) 工事請負費調べ  
該当なし

(6) 委託料、諸会費支出状況

ア 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変更	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
(経費) 委託料	単県	平成23年度 給与計算事務 委託	(株)鳥取県 情報センター 鳥取市寺町50 番地	1,950,480	(H23.4.1) 1,950,480	H23.4.1 ~ H24.3.31	H23.3.30 (免除)	H24.3.31	精	H24.4.27	1,950,480	一般会計の給与計 算事務を行っており、 給与計算業務に精 通しているため。
(経費) 委託料	単県	平成23年度 公務能率評 定、執務姿勢 診断、出退勤 管理システム 運用保守委託	(株)鳥取県 情報センター 鳥取市寺町50 番地	1,002,120	(H23.4.1) 1,002,120	H23.4.1 ~ H24.3.31	H23.3.30 (免除)	H24.3.31	精	H24.4.27	1,002,120	鳥取県職員イント ラネットと連携さ せる必要があるた め。
(経費) 委託料	単県	平成23年度 新工事管理シ ステム及び電 子調達システ ム運用保守委 託	(株)日立情報シ ステムズ岡山支 店 岡山市北区柳町 2-1-1	1,419,000	(H23.4.1) 1,134,000	H23.4.1 ~ H24.3.31	H23.3.31 (免除)	H24.3.31	精	H24.4.27	1,134,000	システム開発者で あり本システムに 精通しているた め。
(経費) 委託料	単県	平成23年度 財務会計シス テム保守業務 委託	(株)富士通中国 システムズ鳥取 営業所 鳥取市永楽温泉 町271番地	504,000	(H23.4.1) 504,000	H23.4.1 ~ H24.3.31	H23.3.30 (免除)	H24.3.31	精	H24.4.10	504,000	新規
(経費) 委託料	単県	平成23年度 生活習慣・ス トレス測定業 務委託	(株)総合心理研 究所 東京都千代田区 二番町1-2番 町ハイム622	515,760	(H23.9.30) 515,760	H23.10.1 ~ H24.3.31	H23.9.29 (免除)	H24.3.19	精	H24.3.29	515,760	新規
予定価格が 20万円未 満のもの											258,510	
目 計											5,364,870	
合 計											5,364,870	

イ 諸 会 費

(単位：円)

名 称	支 出 金 額	内消費税額	支 出 先	備 考
鳥取県自治体病院 開設者協議会会費	234,000	0	鳥取県自治体病院開設者 協議会	
支出額が10万円未満 のもの	50,000	0		
合 計	284,000	0		

(7) その他の収入支出の状況

ア その他医業収益  
該当なし

イ その他医業外収益  
該当なし

ウ 特別利益  
該当なし

エ 雑損失  
該当なし

オ 不納欠損処分  
該当なし

カ 特別損失  
該当なし

キ 未収金  
該当なし

ク 未収金回収促進のための取り組み状況

取り組み対象の未収金	債権管理事務取扱 要領の作成の有無	取り組み状況	取り組み効果
医業未収金 (患者自己負担分)	有 (各病院が作成)	法的手段(支払督促申立)を行う ための手続きを進め、支払督促前 提の最終催告を行った(1件)。	分納による支払いを約させ た。(継続的に支払いが行 われている。)
医業外未収金			
その他未収金			

(8) 未利用の土地及び建物の状況

該当なし

(9) 土地、建物の貸付け及び使用許可状況

該当なし

(10) 借受不動産の状況

該当なし

(11) 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

該当なし

(12) 除却資産

該当なし

(13) 寄附物件の受納状況

該当なし

(14) 不用品等の処分状況

該当なし

(15) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成24年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	710円	5,030円	2,880円	2,860円	
収入印紙	500	0	0	500	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	1,210	5,030	2,880	3,360	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成24年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
93 枚	0 枚	2 枚 1,440 円	91 枚

(16) 固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況

該当なし

(17) 自動車の管理状況

該当なし

(18) 貯蔵品の購入払出の状況

該当なし

6 予算決算対比表

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

(単位：円)

科 目	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	合 計			
(款) 病院事業収益	0	0	0	0	0	0	
(項) 医業収益	0	0	0	0	0	0	
(項) 医業外収益	0	0	0	0	0	0	
(項) 特別利益	0	0	0	0	0	0	

イ 支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額								決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企 業法第24条 第3項の規定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	合 計				
(款) 病院事業費用	80,031,000	0	0	0	0	80,031,000	0	80,031,000	69,475,181	0	10,555,819	
(項) 医業費用	80,031,000	0	0	0	0	80,031,000	0	80,031,000	69,475,181	0	10,555,819	
(目) 給与費	64,352,000	0	0	0	0	64,352,000	0	64,352,000	58,821,894	0	5,530,106	
(節) (給料)	31,504,000	0	0	0	0	31,504,000	0	31,504,000	28,544,400	0	2,959,600	
管理者給	5,946,000	0	0	0	0	5,946,000	0	5,946,000	5,925,000	0	21,000	
事務員給	25,558,000	0	0	0	0	25,558,000	0	25,558,000	22,619,400	0	2,938,600	
(節) (手当)	18,691,000	0	0	0	0	18,691,000	0	18,691,000	16,932,128	0	1,758,872	
管理者手当	4,237,000	0	0	147,000	0	4,384,000	0	4,384,000	4,383,748	0	252	
事務員手当	14,454,000	0	0	△147,000	0	14,307,000	0	14,307,000	12,548,380	0	1,758,620	
(節) (賃金)	2,068,000	0	0	0	0	2,068,000	0	2,068,000	1,507,523	0	560,477	
(節) (退職給与金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(節) (法定福利費)	12,089,000	0	0	0	0	12,089,000	0	12,089,000	11,837,843	0	251,157	

科 目	予 算 額							決算額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不用額	備考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企 業法第24条 第3項の規定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額				
(目)経費	15,679,000	0	0	0	0	15,679,000	0	15,679,000	10,653,287	0	5,025,713
(節)厚生福利費	70,000	0	0	0	0	70,000	0	70,000	36,435	0	33,565
(節)交際費	400,000	0	0	0	0	400,000	0	400,000	0	0	400,000
(節)報償費	179,000	0	0	0	0	179,000	0	179,000	148,204	0	30,796
(節)旅費交通費	1,077,000	0	0	0	0	1,077,000	0	1,077,000	410,109	0	666,891
(節)消耗品費	1,074,000	0	0	0	0	1,074,000	0	1,074,000	947,223	0	126,777
(節)光熱水費	451,000	0	0	0	0	451,000	0	451,000	386,233	0	64,767
(節)燃料費	92,000	0	0	4,000	0	96,000	0	96,000	94,407	0	1,593
(節)食糧費	150,000	0	0	0	0	150,000	0	150,000	32,570	0	117,430
(節)印刷製本費	657,000	0	0	0	0	657,000	0	657,000	409,741	0	247,259
(節)修繕費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	10,000
(節)賃借料	2,941,000	0	0	0	0	2,941,000	0	2,941,000	1,578,714	0	1,362,286
(節)委託料	6,956,000	0	0	△4,000	0	6,952,000	0	6,952,000	5,364,870	0	1,587,130
(節)通信運搬費	255,000	0	0	0	0	255,000	0	255,000	118,122	0	136,878
(節)諸会費	290,000	0	0	0	0	290,000	0	290,000	284,000	0	6,000
(節)雑費	1,077,000	0	0	0	0	1,077,000	0	1,077,000	842,659	0	234,341
(項)医業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(目)繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(節)控除対象外消費税償却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(目)雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(項)特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(目)その他特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 資本的収入及び支出

該当なし

7 資金収支の状況

(1) 資金収支表

【病院局総務課分】

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	0	資本的収入 (B)	0
建設改良費	0	企業 債	0
企業債償還金	0	負 担 金	0
他会計借入金償還金	0	補 助 金	0
		資本的収支資金不足額	0
		(C = B - A)	
		(補てん財源)	
		消費税等資本的収支調整額	0
		損益勘定留保資金	0
		・ 減価償却費	0
		・ 資産減耗費	0
		・ 繰延勘定償却	0
		・ 特別損失	0
		当期純利益	0
		計 (D)	0
収益的収支の資金剰余額			
(E = D)	0		
当年度資金剰余額			
(F = E - C)	0		
合計 (A + F)	0	合計 (B + D)	0

(2) 累積資金推移表

【病院局総務課分】

(単位：円)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
累積資金剰余額					
(流動資産 - 流動負債)	0	0	0	0	0
当年度資金剰余(△)不足額	0	0	0	0	0



## (1) 資金収支表

【病院事業会計総計分】

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	3,160,919,108	資本的収入 (B)	2,456,790,458
建設改良費	1,948,036,693	企業債	1,299,700,000
企業債償還金	1,212,882,415	負担金	584,338,659
他会計借入金償還金	0	補助金	572,387,000
		固定資産売却代金	364,799
		資本的収支資金不足額 (C = B - A)	704,128,650
		(補てん財源)	
		消費税等資本的収支調整額	2,880,665
		損益勘定留保資金	902,925,563
		・減価償却費	( 741,399,544)
		・資産減耗費	( 10,455,455)
		・繰延勘定償却	( 57,092,019)
		・特別損失	( 93,978,545)
		当期純利益	616,053,542
		計 (D)	1,521,859,770
収益的収支の資金剰余額 (E = D)	1,521,859,770		
当年度資金剰余額 (F = E - C)	817,731,120		
合計 (A + F)	3,978,650,228	合計 (B + D)	3,978,650,228

## (2) 累積資金推移表

【病院事業会計総計分】

(単位：円)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
累積資金剰余額 (流動資産－流動負債)	3,412,866,538	3,302,665,019	3,628,945,791	4,464,400,799	5,701,087,980
当年度資金剰余(△)不足額	△910,142,898	△110,201,519	326,280,772	835,455,008	1,236,687,181

## 8 意見、要望等

## (1) 業務に関する意見・要望等

なし

## (2) 監査委員事務局に対する要望等

なし